

# 1. 評価結果概要表

作成日 2008年3月12日

## 【評価実施概要】

事業所番号	1272600972
法人名	社会福祉法人八千代美香会
事業所名	グループホーム美乃里
所在地	〒276-0028 千葉県八千代市村上573-5 (電話) 047-481-1188

評価機関名	特定非営利活動法人コミュニティケア研究所		
所在地	千葉県千葉市中央区千葉港4-4千葉県労働者福祉センター5階		
訪問調査日	平成20年3月12日	評価確定日	5月2日

## 【情報提供票より】(20年3月1日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	平成17年7月1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	19 人	常勤9人, 非常勤10人, 常勤換算16.3人	

### (2) 建物概要

建物構造	軽量鉄骨造り		
	2階建ての	1階 ~	2階部分

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	47,000円	その他	食費36,000, 水道光熱費12,000, 理美容代, おむつ代など	
敷金	有(200,000円)			
保証金の有無(入居一時金含む)	無		有りの場合償却の有無	
食材料費	朝食	350 円	昼食	350 円
	夕食	350 円	おやつ	15 円
	または1日当たり 1,200 円			

### (4) 利用者の概要(3月1日現在)

利用者人数	18 名	男性	5 名	女性	13 名
要介護1	6 名	要介護2	10 名		
要介護3	1 名	要介護4	0 名		
要介護5	0 名	要支援2	1 名		
年齢	平均 86.6 歳	最低	75 歳	最高	96 歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	新八千代病院
---------	--------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

平成17年開設の同ホームは今年で3年目。職員は定着し、落ち着いてケアに当たれるようになってきた。これからは、何か新しい取り組みを始めたいと、入居者の一泊旅行などを計画し始めているところである。当初はそれほど目立たなかったが、1階ユニットと2階ユニットでは、やや入居者の介護度の差が出始めてきた。これまでの退居者は13名。同法人の特別養護老人ホーム美香苑などに移っている。しかしながら、たいそう家庭的で居心地の良い同ホームで終末期を迎えたいという要望も多く、ターミナルケアの必要性などにも目を向けている。

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	前回評価での指摘事項は、なかなか改善に繋がっていない。ホームの玄関は暗証番号を押さないと開かないようになっており、それは昨年のものである。職員の計画的な研修の機会作りも、日々忙しくなかなか実行には至っていない。しかしながら救急救命講習は年度明けに実施する予定である。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	自己評価は、職員の意見を聞き、管理者が作成した。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	地域包括支援センター長、村上地域民生委員、新山台自治会長およびホームスタッフが参加して3ヶ月に1回、開催されている。八千代市の職員は参加していない。内容はホームの日常や取り組みの紹介が主。地域との連携については、自治会や地域支会(八千代市社協の地域組織)などで話し合われている。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	2ヶ月に一度のホームだより送付、毎月の金銭出納報告をはじめ、面会時やホームの行事の際に家族と意見交換する機会を設けている。寄せられた意見により、利用料の口座引き落としを可能にした事例もある。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	自治会の会議会場に、同ホームのホールを利用してもらっている。また地域支会(八千代市社協の地域組織)や民生委員とも連携をもっている。同ホームは地域の中で認知症高齢者の専門事業者として信頼が厚く、相談なども多く寄せられている。八千代市役所のホームページに空き室情報等を掲載している。 <a href="http://www.city.yachiyo.chiba.jp/benricyo/kaigo/jigyosyo_joho/index.html">http://www.city.yachiyo.chiba.jp/benricyo/kaigo/jigyosyo_joho/index.html</a>

## 2. 評価結果 ( 詳細 )

(  部分は重点項目です )

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印 )	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>					
1. 理念と共有					
	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「居心地の良い家を作ろう」を理念に、ホーム内も地域に向けても居心地のよい関係作り、環境づくりに努めている。		
	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	居心地の良さの実現のため、ホーム内に観葉植物を多く置いたり、居室にはこれまで使っていた馴染みの品を持ち込んでもらうなど、理念の具体化に向けて、職員一同で取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会の餅つきや納涼会に参加したりしている。認知症の専門施設として、地域から厚い信頼を寄せられている	ホームで認知症サポーター養成講座を開催したり、自治会の餅つきや納涼会に参加したりしている。認知症の専門施設として、地域から厚い信頼を寄せられている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	職員と管理者とで自己評価を作成した。自己評価作成に伴い、職員からさまざまな意見は出たが、玄関ドアの施錠、研修の機会が作れないなどは昨年のものである。		自己評価・外部評価の結果に対し、出来るところから取組みを進めていくことが期待される。
	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	地域包括支援センター職員、民生委員、自治会長およびホームスタッフらで話し合いを行っているが、あまり意見は出ていない。しかし、運営推進会議以前から参加している自治会や地域支会などでは、活発に意見交換が行われている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	八千代市のホームページに空き室情報等を掲載している。また生活保護の入居者のために担当課と話し合いをしている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	月一回、金銭管理の収支報告を送付する際に、入居者の様子なども書き添えて送っている。また2ヶ月に1度の割合で、ホーム便りを発行し、家族に送付している。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	相談窓口は重要事項説明書に明記されている。意見が出た時は、管理者ならびに法人本部へ連絡され、すばやい回答を行うようにしている。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	法人内で必要に応じての異動はあるが、極力行わないようにしている。退職はさりげなく行い、入居者に影響が出ないように心掛けている。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人の全体研修や高齢者福祉施設協会主催の研修に、職員がなるべく参加できるよう配慮はしているが、その機会はまだ少ない現状である。ホームでの勉強会等も特に行っていない。介護福祉士や社会福祉士などの国家資格取得を推奨しており、合格時の登録費用は法人で助成している。		職員を育成していこうとする意思是強く感じられるが、研修や勉強会の機会がまだまだ少ないので、一考が促される。
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	ちば高齢協のグループホーム部会に参加し、意見交換している。また同ホームは八千代市で最初にできたホームなので、新設の他ホームがしばしば見学に訪れている。しかしながら、交流は管理者に留まっており、現場従業者にはあまり機会がない状況である。		現場従業者たちにも、同業者との交流の機会を作ることが望まれる。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>まずは併設のデイサービスを利用してもらい、雰囲気慣れさせていただくようにしている(1回は食事付きで無料)。入居希望者本人が、ホーム入居に同意しているかどうかをしっかりと確認し、だまして入居させるようなことがないよう気を配っている。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>洗濯物干しやたたみ、掃除、植木の水遣りなど、入居者は個々に様々な役割を果たしながら、ホームで共同生活を送っている。</p>		
<b>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>認知症の程度や遠慮などもあり、思いや希望はなかなか言わない入居者も多いが、夜にお茶を飲みながら静かに会話していると、ここへ行きたい、あれが食べたいなどの声があがるので、可能な限り実行に移している。</p>		<p>入居者個々の希望の把握に努めているが、一人ひとりの思いや希望は刻々変化するので、今まで以上に聞く機会を作りたいと管理者は考えている。個別ケア重視の観点から今後期待したい。</p>
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>職員、管理者とで、入居者が健康に楽しく暮らせるための課題を考え、介護計画の素案を作成し、家族に説明する。家族の意見はもちろん計画に反映し、短期目標と長期目標を設定している。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>職員は担当する入居者に関する報告書の提出を求められ、それをもとに毎月のユニット会議で話し合いしている。急変時は都度対応する。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	隣接して同法人の特養とデイサービスがあり、行事参加、車の貸し借り、看護師の巡回など、さまざまな協力体制が作られている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	提携病院(内科)からの訪問診療があるほか、家族・入居者本人の希望に沿ったかかりつけ医の受診を職員が同行して支援している。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	家族・入居者から家庭的雰囲気ของกลุ่มホームで終末を迎えたいとの希望があっても、隣接の特養が重度化した方の専用施設として住み分けを行っており、現状はホームでのターミナルケアはしておらず、従って方針の共有には至っていない。		ホームでのターミナルケアが可能となるような体制作りが期待される。
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	トイレ誘導は恥を欠かせないようにさりげない対応で、言葉掛けは尊厳を大切にしている。記録の保管場所は指定された場所で、職員の持ち出しは禁止して入所時誓約書を交わしている。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ホームの基本的な生活の流れはあるが、起床時間や食事、就寝など入居者のペースや体調に合わせている。入浴を嫌がる方には、曜日や時間を変えるなどして支援している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	献立作成、買出し、調理など、入居者と職員が相談しながら行っている。食事は職員も同じものを入居者と共に頂く。食事中を会話しながらさりげなく介助していた。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	風呂は毎日沸かしており、失禁対応や希望に応じた入浴が可能となっている。隣接ダイサービスの、椅子に座ったまま入浴できる特殊浴も利用できる。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	掃除に加わる、調理の下ごしらえを手伝うなど、入居者が自らの力量に応じて、進んで役割を見つけ出そうとする流れが出来ている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	散歩、外食、買い物、隣接特養でのイベントなど、出来る限り入居者の希望に沿って外出できるよう支援している。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	ホームは大通りに面しており、交通事故防止の為、玄関に暗証番号操作の錠がある。入居者でも番号操作できる人は開錠し外に出ることができる。操作できない入居者が外に出たいときは職員が付き添って外出する。		
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	市に防災計画を提出し、年二回消防署の立会い指導を受けている。避難場所の確認や災害時持ち出し書類なども定められている。水、食料の備蓄もある。しかし、夜間帯は職員の数が少ない上に近隣との連携もはかられていないため、若干の不安が感じられる。		夜間災害を想定した避難訓練および応援体制が確立されるような住民への働きかけが望まれる。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	糖尿病や肥満傾向の人には訪問医と相談しながら支援している。水分は、食事やお茶のこまめな提供で、不足しないよう気を配っている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	「居心地の良い家を作ろう」の理念に沿って、バリアフリーの内装、適度な明るさの照明や夜間のフットライト、食堂の横に空が見える中庭が作られていて陽が差し込んでいるなど、配慮と工夫が凝らされている。中庭の花やガラス窓の飾り、額入りの絵や写真、入居者の作品、行事写真などが飾られ、生活に潤いを与えている。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	快適かつ安全に過ごせる様 整理整頓、清掃が行き届いていた。天気の良い日は布団を干し、シーツ交換も定期的に行われている。馴染みの家具や装飾品が置かれ、居心地の良い居室が作られている。		